



バリアフリー推進レポート



第10回島根県バリアフリー等地域連絡会議を開催しました！

バリアフリー等地域連絡会議は、平成22年度から中国地方各地でのバリアフリー化を推進する目的で各県において隔年で開催しています。

このたび、第10回島根県バリアフリー等地域連絡会議を下記のとおり開催しました。

【会議概要】

日時： 令和6年10月29日（火）13:30～16:00

場所： 対面・WEB併用で実施

- 議事：（1）開会挨拶（島根運輸支局長）
 （2）座長選出・挨拶
 （3）運営要綱の一部改正について
 （4）移動等円滑化評価会議中国分科会について
 （5）構成員のバリアフリーに関する取組状況
 （6）意見交換
 （7）閉会挨拶（島根県土木部土木総務課長）

【会議の様子】



島根運輸支局長
開会挨拶



座長 建築設計事務所
飴屋工房 代表 足立 正智



対面会場
（松江国道事務所）



意見交換



島根県土木部土木総務課長
閉会挨拶

【構成員】

- 学識経験者
建築設計事務所 飴屋工房 代表 足立 正智
- 高齢者・障がい者団体
島根県身体障害者団体連合会
公益社団法人島根県視覚障害者福祉協会
島根県ろうあ連盟
一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会
島根県手をつなぐ育成会
島根県自閉症協会
公益財団法人島根県老人クラブ連合会
しまね盲ろう者友の会
- 施設設置管理者
西日本旅客鉄道株式会社
中国統括本部山陰支社
一畑電車株式会社
一般社団法人島根県旅客自動車協会
島根・鳥取県旅客船協会
島根県旅館ホテル生活衛生同業組合
出雲空港ターミナルビル株式会社
石見空港ターミナルビル株式会社
- 行政機関
中国地方整備局、中国運輸局
松江国道事務所、島根運輸支局
島根県
松江市
出雲市

【構成員のバリアフリーの取組状況（抜粋）】

《西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部山陰支社》

- 社員への教育・訓練等の実施、サービス介助士取得、新型やくもバリアフリー体験会実施、視覚に障がいがあるお客様への券売機購入体験会実施（宍道駅）、出雲養護学校雲南分教室へのマナー教室の実施、介助連絡体制の構築（駅・乗務員の連携）

《一畑電車株式会社》

- ホームページの更新に合わせ、バリアフリー情報を各駅のホームページに掲載

《出雲空港ターミナルビル株式会社》

- ホームページの更新時に、施設内におけるバリアフリー情報を掲載
- 現場スタッフ7名全員がサービス介助士の資格を取得、定期的な更新教育の受講
- 車椅子が通行しやすいように出発ゲートの拡張（70cm⇒91cm）

《石見空港ターミナルビル株式会社》

- 観光案内担当者のうち1名が手話検定準1級の資格を取得

【意見交換（抜粋）】

- 視覚障がい者用付加装置について、何年か前には触知式信号機があったが今は音声だけになっている。東京にはあるが松江市にはないため、とても不安に感じている。振動で分かり安心して行動できるように、復活させていただきたい。

回答 信号機は全国的に警察庁が定めている仕様があり、一定の基準が示されている。今回の信号機がその仕様に合っているものかどうか、持ち帰って、設置も踏まえて検討をする。

- 3月に新型やくもの体験試乗会に参加させていただいた。座席等が広くなりよくなったと思ったが、バリアフリートイレについて、車椅子利用者においては広くなりよいと思うが、出入口のところに手すりがなく、目の見えない者にとっては不安を感じる。

回答 いただいた意見は持ち帰り、関係部署に共有させていただく。補足として、やくも号の多目的トイレについては、在来線の特急ではおそらく最大級の広さとなっている。その一方で、どうしても壁や便器までの距離が遠くなり、私たちが思っていなかったような、配慮が足りない部分が出てきたという点について、手すりの設置が妥当かどうかも含めて検討させていただく。また、試乗会でのアンケートについては既に社内でも共有している。

- 宍道駅では跨線橋を渡り、別のホームへ行き、電車に乗る必要がある。跨線橋は階段となっているため、車椅子の方や盲ろう者は介助がないと渡れないようになっている。

回答 宍道駅の跨線橋については、60年前の非常に古い設計となっている。そのため、階段の奥行きが狭く、急で途中で踊り場もない。手すりがついていると言えども、非常に不安な状況になっているということについて、心苦しく思っている。

一方で、島根県内にはこのような跨線橋は多々残っており、すぐに改善するという状況ではないということについては御理解いただきたい。また、私ども社員が御案内をお手伝いさせていただくので、遠慮なく伝えてほしい。

【意見交換（抜粋）】（続き）

- 交通運賃割引制度について、現在は条件付きだが、今後は、各社とも障がい種別を超えて、100km以下の同伴条件をやめ、全ての手帳所持者が対象になる制度を求める。また、鉄道、バスなどの路線縮小、廃止のため、障がい者、高齢者は大変困っている。

回答 JRとして、割引制度の条件付きについて、1種の障がいをお持ちの方は交通機関を利用する際に介護者が必要な場合、結果的に1人の移動のために2人分の運賃を払わざるを得ないため、経済的負担が多くなる。この経済的負担を軽減することと、移動しやすい環境を作るために、本人と介護者それぞれを5割引にして、結果的に1人分にするというところが、1種の障がいをお持ちの方への対応となる。

1人で旅行できる場合には、経済的負担が発生していないため、同様の割引とはならないのだが、一方で、旅行金額が高額になる100km以上の場合については、同様に割引をつけさせていただくというのが、今の制度上の考え方となり、JR西日本のみならず、東海、東日本なども含めた共通のルールで運営している。いただいた意見はしっかり持ち帰らせていただく。

また、バスの路線縮小について、昨日、松江市主催の交通に伴う市民会議というものがあり、そこでも同様の意見が出ていた。今後のダイヤ改正の参考とさせていただきたい。

回答 旅客自動車協会として、バスの運行が減便となり不便をおかけしている点について、利用者低迷に加え、運転者不足と待遇改善が進まない中で、バス会社も一生懸命乗務員の確保をしようとしているが、なかなか新たな採用ができない状況である。

一方で、ある程度高齢の乗務員については、安全運行という面でお辞めいただくかなくてはならないということがあり、ダイヤの確保をする上では乗務員が足りないという状況。

そういった中で国土交通省に様々な補助金や制度を設けていただき、支援していただいている。また、島根県交通対策課が昨秋から、県内の各市町村の交通担当課長や島根県旅客自動車協会を含めてプロジェクトチームを作って、検討を進めてきた。その中で今後の方向性として、バス会社が行う様々な乗務員確保の取組について、行政としてもしっかり支援していき、補助金等についても今まで以上の増額ということもやむを得ないのではないかとということで、県の方で取りまとめていただいた。すぐにということにはならないが、着実に乗務員確保に向けて頑張っていきたいと思っている。

- 点字ブロックについて、歩道と施設建物までつながっていない場合があり、困る時がある。安心して安全に目的地にたどり着くために、是非とも点字ブロックはつなげていただきたい。
- 点字ブロック近くに車両進入禁止の支柱が設置されていたり、頭上に植樹の枝が伸びていたりするような歩道を歩いていて支障となることがあるので、気を付けていただきたい。
- また、踏切内にも点字ブロックを設置するように法令で決まったと思うが、島根県内で点字ブロックの設置をする計画があるのか、情報があれば教えていただきたい。

回答 今回はバス・タクシーの担当で来ているため、情報を持ってはいないが、組織内で共有する。

- 点字ブロックは視覚障がい者にとっては大変必要なものである。一方、車椅子使用者の立場から考えると、点字ブロックで車椅子の前輪が取られてしまうなど、歩道の幅等によっては設置場所がちょうど車輪が当たるところに設置してあるような箇所が見られる。今後、新たに設置する際は、我々当事者にも相談いただき、視覚障がい者も一般歩行者も車椅子使用者も誰もが通りやすい歩道になるように作っていただきたい。

【意見交換（抜粋）】（続き）

回答 誘導ブロックの設置と車椅子ユーザーの車輪がとられてしまうという問題については、国土交通本省で開催されている移動等円滑化評価会議でも数年前に議題になったと伺っている。

非常に難しい問題だというのは承知いただいていると思うが、今後何か状況が分かれば、提供させていただきたい。

- 島根県土木部の取組状況資料「道と川の相談ダイヤル」について、電話番号が載っており、聞こえる人は電話で相談できるが、FAXでの相談も可能なのか。FAX番号の記載もお願いしたい。

回答 いったん持ち帰らせていただき、FAX番号を記載する方向で進めていきたいと思う。

※後日、対応済み

- J Rのみどりの窓口プラスを利用した際、事前に、どこからどこまで何時に何号車のやくもに乗るのかというように紙に書いたものを準備した上で、一人で利用をした。なかなか切符が出てこず、後ろに行列もできて不安になった。オペレーターの方が話しているかどうか分からないという状況で、やり取りにかなりの時間を要した。この機械は出雲市に1つしかないこともあり、行列ができてしまった。できれば手話での表示など、聞こえない方でも利用しやすいような工夫をしていただきたい。

回答 みどりの窓口プラスについては様々な多くの意見を頂戴している。導入して間もないため、課題の多中で御不便をおかけして誠に申し訳ない。

手話を習得するということについては、なかなか全社員習得ということに時間がかかると思うが、筆談という点については、現在の窓口の中のように、当たり前に行えるような環境にしていきたいと思っているため、少し時間をいただければと思う。

【座長まとめ（概要）】

- 新型やくもという新しい車両ができて、私も何度か乗ったが、乗り心地もよく、いい車両だと思う。
- 新型やくもに関して様々な御意見もあり、今回 J Rさんに質問が集中したような感じもあるが、他の交通機関、行政の方においても、様々な意見があったので、ぜひお持ち帰りの上、これからも改善に向けて努力していただくようよろしくお願いします。